



ちゅうりっぷぐみだより

2022. 3. 1

ちゅうりっぷ組の生活も残り1ヶ月となりました。赤ちゃんフロアのお部屋で10名から始まった生活も今ではさらにお友だちも増え、とことこ・つぼみの部屋と3つの部屋に分かれてそれぞれ生活をしています。

入園した4月当初は何もかもが初めてのことで子どもたちも、おうちの人も「大丈夫かな？」といういろいろな思いがあったことでしょう。あれから約1年…ちゅうりっぷ組での成長は大きく、動けること・出来ることが嬉しくて自分の体を思う存分使って過ごしています。周りにもどんどん目が向くようになり、身近なもの、お友だち、大人との関わりも広がってきています。これからもたくさんの刺激を受けながら心も身体も大きく成長して欲しいと思います。

コロナ禍で大変な中での1年、たくさんのご理解・ご協力ありがとうございました。

「つぼみさんへおひっこし！」

(ち1のお友だち)

赤ちゃんフロアからとことこの部屋に移行したときは初めての場所でとてもドキドキしていたお友だちもいましたが、つぼみのお部屋への交流時ではドキドキの気持ちより「なにがあるのかな?」「いってみたい!」とワクワクの気持ちが勝り、とても楽しんで遊ぶ姿が見られました。先月末に移行をしてまだ間もないですが、生活面・遊び面でも「自分でしたい!」という気持ちがどんどんできています。その反面「いや!」「したくない!」ということも。いろいろな気持ちを受け止めながらじっくりと関わっていきたいと思います。

「ぬぎぬぎ・ぎゅ〜！」

(ち2のお友だち)

排泄時、食後の着替えに自分でズボンを脱ぎ着することをしています。まだまだ保育者が手伝っていることが多いのですが、カゴの前に置いているマットの上に行き、ひざ下までズボンを下ろしてもらおうと座って片足ずつ足を出そうと頑張っています。「う〜ん!」となかなか出なかったり、下ろしてもらったのを上げてみたりという姿があります。履くときも「ここを持つんだよ」とズボンの前の所を両手で持つように伝え、保育者が後ろを持って「ぎゅ〜」と言いながら上げることをしています。まだまだ難しいところではありますが、「自分でできた」という気持ちになっていければと思います。

「おいしいね！」(ち3・4のお友だち)

食べることが大好きな子どもたち。椅子に座ってエプロンをつけ始めると「ごはんの時間だ!」とわかって待っています。お皿の中を見るなりどんどん食べようとする姿もあれば、なかなか手が出ない子、持ってもすぐポイッ!と落としてしまう子もいます。手で持って食べていくことで、お口だけではなく、手の感触からも食べ物を感じて「食べよう!」という意欲につながっていきます。また、スプーンにも興味を持ってすくって食べてみようという子もいます。個々によって離乳食の段階が様々ですが、いろいろな味・食材を知っていき、しっかりと噛んで食べるということも伝えながらおいしく楽しく食事をしていきたいです。

♪はじまるよったら

はじまるよ♪

「おふとんかけたら」

かがくい ひろし 作

